

## 天栄中学校区における学校再編計画(素案)説明会 結果概要

○日 時： 令和5年9月9日(土) 10:00～11:30

○場 所： 天栄中学校 屋内運動場

○参加人数： 87人(大人83人 子ども4人)

○出席者： (教育委員会事務局)

教育長

教育次長

参事

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

参事兼教育指導課長

教育指導課副参事兼研究グループリーダー

学校教育課長

学校教育課副参事兼教職員グループリーダー

(事務局)

教育政策課

○開催概要:次のとおり

1 開会

2 出席者紹介

3 教育長挨拶

4 資料説明(「義務教育学校」の設置,「新たな小学校」の開校,今後の取組等)

5 質疑応答

(参加者)

- ・ 当初,小中一貫校及び義務教育学校に賛成だった。また,複式学級についても,子ども達のためにも避けたいと考えていた。
- ・ しかし,今では天名小学校を残して欲しいという思いに変わった。
- ・ 考えが変わった経緯は,隣の亀山市が複式学級を肯定しており,実際に亀山市で複式学級を実施している学校に行って話を伺ってきたことがきっかけである。
- ・ 訪問先では,「最近では少人数教育の良さが見直されている。複式学級では,単式学級や複数学級では,つけられない力をつけさせることができる。リーダーシップを身につけることができる。」との話を伺った。

- ・ 今後、南部の歴史を受け継いだ学校を創って欲しい。
- ・ 義務教育学校を設置する際は、天名小学校、合川小学校を分校にして欲しい。
- ・ 子どもの視点を大切にして、少人数教育がなぜ良いのかを今一度考えて欲しい。

(教育委員会事務局)

- ・ 少人数教育と複式学級との違いを御理解いただきたい。
- ・ 学校の配置については、通学距離など地理的な距離も考慮に入れる必要がある。
- ・ 本市としては、子ども達に「生きる力」を身につけさせるためにも、一定規模の中で教育をしていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 令和5年9月1日に白紙撤回を求める署名を提出した。
- ・ 本日、新たに58名分の追加分を教育長に手渡した。全て合わせると1,526名分の白紙撤回を求めている声がある。これだけの人が反対している統廃合を進めるのはいかがか。
- ・ 教育委員会事務局の説明には、複式学級が悪いというイメージがある。
- ・ 3年前に教育長と話をした際に、教育長は複式学級について悪いとは思わないとの発言があった。
- ・ 本年度の教育講演会では、複式学級の良さに触れる内容だった。
- ・ 国連でも、学校の規模は100以下で、1学級当たりの人数は20人以下であることを勧めている。
- ・ 切磋琢磨をするには、大人数である必要はない。2人でも切磋琢磨はできる。
- ・ いじめ対策については、クラス替えを行うことで問題にふたをしようとしているように感じる。

(参加者)

- ・ 統合反対が多数意見のように扱われているが、それは一部であり、私の周りの方の意見を踏まえると、統合反対は多数意見でないと考えられる。
- ・ 複式学級と少人数教育は違う。
- ・ 現在、小学生の孫が、1学級13人という規模で過ごしており、良い雰囲気だと感じている。
- ・ 成長していく過程で、中学校、高校、社会と大人数の中で、もまれることが増える。
- ・ 子どもの将来を考えると、大人数で過ごす経験が大切だと思う。
- ・ これから子どもの数が減り、同級生が6人、7人となった時に、将来、子どもが大人数の環境に戸惑うことにならないか心配である。
- ・ この計画には大賛成である。

- ・ 反対が大人数だと思わないで欲しい。

(参加者)

- ・ 子どもが複式学級になる学年に当たる。
- ・ 複式学級を避けて欲しいと考えている。
- ・ 社会に出た時に、人とつながる力をつけて欲しいと思うことから、義務教育学校に賛成である。
- ・ 義務教育学校の校舎は、新しくなるのか教えて欲しい。

(教育委員会事務局)

- ・ 施設一体型の校舎を想定している。
- ・ 天栄中学校の既存の施設を使うこともあると思うが大幅な改修を考えている。
- ・ 具体的な内容は、今後、検討を進め決定していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 天栄中学校の学校運営協議会の委員である。
- ・ 昨年の説明会で出た意見は、まとめられてホームページに掲載されているが、回答がない状態で 8 ヶ月過ぎていることに大変不信感がある。
- ・ 現在実施している意見募集で出た意見は、全て公表するとともに回答して欲しい。
- ・ 意見募集のチラシは、天栄中学校の校区に配付されているが、義務教育学校は特認校として市内全域から通うことを想定するならば、チラシは市内全域に配るべきではないか。
- ・ 小さな子どもがいる家庭を中心に情報発信をして欲しい。
- ・ 小学校と中学校の学校運営協議会の委員であり、これまでボランティアにも 20 年近く関わっている。また、あり方検討会の委員でもある。しかし、このたび、教育委員会事務局が学校再編計画の素案を公表することを直接聞いていない。
- ・ 教育委員会定例会を傍聴しているが、8 月末の定例会において素案について触れられていたが、その際、教育委員から特段質問がなかった。
- ・ 学校再編について十分に話し合いが行われているのか。
- ・ あり方検討会、学校運営協議会、まちづくり協議会等で十分に話し合ったのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 昨年の地域説明会で出た意見については、整理を行い公表している。
- ・ 意見について、個別の回答は示していないが、このたびの再編計画素案に反映している。
- ・ 計画素案に関する案内については、天栄中学校区を考慮して配付した。
- ・ 教育委員には随時報告をしている。本日の説明会についても、9 月定例会で報告を行い、意見を伺う予定である。

- ・ これまでは令和 8 年の学校再編までの説明であったが、中長期的な視点から、不安に思われる方も多く、それに関する意見も出されていたことから、義務教育学校の設置も含めて示させていただいた。
- ・ 庁内で検討を十分に行った上で、市議会にも説明を行ってきたため時間を要した。
- ・ 義務教育学校の詳細については、教育ビジョンの策定を進めるなど来年度具体的な検討を行い示していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 今回の素案は、令和 8 年度の小学校 3 校の再編と、令和 14 年度を目途にした義務教育学校の設置と両方の再編についての素案なのか。
- ・ 義務教育学校についての詳細は今後決めていくという説明では、計画に示す目的が何なのか分からない。

(教育委員会事務局)

- ・ 2 つの学校再編を一体として考えている。
- ・ 義務教育学校の設置については、時間をかけて再編に向けた準備や検討を行う必要がある。
- ・ 一方で、複式学級が発生することに対しても、できる限り対処したいと考えている。

(参加者)

- ・ 義務教育学校にはメリットが出ると考えられる。
- ・ しかし、説明内容には義務教育学校の中身が薄いと感じる。これまで学校規模の比較での説明だったように感じる。
- ・ 説明を聞いていると、既存の小さな小学校は良くないのか。これまで小規模だった学校を否定しているように感じる。
- ・ 今の学校の良さを超える義務教育学校及び新たな小学校を創る必要がある。
- ・ 義務教育学校や新しい小学校の良さについて、もっと伝える必要があるのではないか。

(参加者)

- ・ 義務教育学校を設置する一回の学校再編だけではだめなのか。
- ・ 義務教育学校の設置時期を早め、令和 8 年 4 月の学校再編を行わない方が、経費面から見ても良いのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 「新たな小学校」から「義務教育学校」への円滑な移行を目指している。
- ・ 本市では、これまで小中連携教育を実施してきた。
- ・ 小中連携では乗り越えられない課題があるため、その課題を乗り越えるためにも小中一貫

教育を進めたいという考えである。

(参加者)

- ・ 複式学級の経験者である。複式学級は良くないのか。
- ・ 私自身は、複式学級で良かったと思っている。
- ・ 義務教育学校の設置には反対ではないが、この再編についての考えは、子ども達、地域の方々や該当する保護者の意見を聞いて決めたのか。
- ・ 子どもが歩いて学校に行けないことや、小学校一年生の子をスクールバスに乗せるのは不安である。
- ・ これまで一方的な説明会だったのではないか。
- ・ 該当する保護者の意見を聞いて欲しい。不安をくみ取って欲しい。

(教育委員会事務局)

- ・ 不安に思う気持ちは理解できる。
- ・ できる限り、不安の解消に取り組んでいきたいと考えているので御理解いただきたい。

(参加者)

- ・ 鈴鹿市では、複式学級には一定のデメリットがあるとの認識を持っているように感じられる。
- ・ 合川小学校は、来年度から複式学級が発生するが、令和 8 年度の統合までの 2 年間だけでも複式学級のデメリットに対処すべきではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 教育委員会事務局としては、合川小学校で複式学級が発生する 2 年間について、出来る限り、複式学級のデメリットに対処できるよう支援を考えていく。

(参加者)

- ・ 複式学級の良さについて、話し合っただけだと意見が伝わらなかったのか。
- ・ 保護者は、天名小学校のトイレ改修を訴えてきた。しかし、保護者の声に耳を傾けてくれない教育委員会事務局には不信感を持っている。

(参加者)

- ・ 合川小学校で発生する複式学級に対して支援を考えていくとの説明があったが、どのような支援を考えているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 三重県教育委員会に対して人的な支援を要望していく。
- ・ また、本市としての対応も検討していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 放課後児童クラブはどうなるのか。ぜひ、小学校の跡地に残して欲しい。
- ・ スクールバスについては、スクールバスの乗り降り場所を現在の小学校にすることで、これまでの集団登校の良さを残していけるのではないかな。
- ・ 義務教育学校については、現在、まだ構想段階であると感じた。施設を新しくすると考えているとのことだったが、天栄中学校や郡山小学校はどうなるのか。
- ・ 様々な課題があると思うが、ぜひ良い学校になるよう頑張ってもらいたい。

(参加者)

- ・ 地域や子ども、保護者への回答をはじめとした対応は不十分だったのではないかなとの声を聞いた。
- ・ 地域や子ども、保護者への対応を丁寧にすることから始めなければいけないのではないかな。
- ・ 当初、複式学級は良くないと考えていたが、文部科学省は個別最適な学習を勧めている。
- ・ 個別最適な学習を進めるためには、複式学級は理想的な環境ではないかな。
- ・ 複式学級は、リーダーシップが発揮できる、主体性が発揮できる、地域との関係も構築できる。
- ・ 子ども達が社会に出たときに力を発揮できるような教育を考える必要がある。
- ・ 県内の 29 市町のうち 19 市町が複式学級を実施している。
- ・ 再編計画の決定時期について、今年度末と言わず、期限を伸ばすことはできないのかな。

(教育委員会事務局)

- ・ まず、少人数教育と複式学級は違うということを御理解いただきたい。
- ・ 複式学級の少ない人数で小学校 6 年間や、小学校入学から中学校卒業までの 9 年間で過ごすことによる将来的な影響を考えると、義務教育学校を目指して進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 多様性を生むためには、一人ひとりを大切にすべきである。
- ・ 子ども達が安心して勉強ができる環境を目指して欲しい。
- ・ 今の天栄中学校区の小学校には、コミュニティスクールが行き届いている。
- ・ 義務教育学校の設置に関する計画を前倒しで実施すれば、これまで出た意見に対応できるのではないかな。

(参加者)

- ・ 僕は、合川小学校は無くなって欲しくありません。
- ・ 学童は無くなるのですか。

(教育委員会事務局)

- ・ 学童自体は無くならない。
- ・ 学童のあり方については、市長部局と連携しながら検討していく。
- ・ 学童を残す方向で進めていきたい。

(参加者)

- ・ 令和14年に新しい学校を設置することについて、現在公表されている素案には、具体的なことが触れられていない。郡山小学校を使うのか、新しく建てるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 新しい学校を建てることを考えている。

(参加者)

- ・ 建設する場所は決まっているのか。場所が決まっていないのに8年後に建てられるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 構想段階として、天栄中学校の場所を活用することを考えている。

## 6 事務連絡

- ・ 本日の説明資料及び説明内容について、来週以降、動画で御覧いただけるように準備をしている。
- ・ 詳細については、教育委員会のホームページで案内を行う。
- ・ 令和5年9月20日まで再編計画に対する意見募集を実施している。
- ・ 本日の説明会を踏まえて、御意見や御質問などあれば活用していただきたい。

以上